

NO WATER, NO LIFE

水は生命の源、限りある資源

かつては泳げる湖

霞ヶ浦は昭和40年前半まで湖水浴場として賑わいました

汚した理由が何か
私たちは知っている

今も汚水を処理できない浄化槽が使われている

市内約5千台の浄化槽の2割が環境負荷の高いタイプを使用し、半数以上が水質検査を行っていない

正しい選択と行動が水と暮らしをつなぐ

下水道が使える区域は接続
浄化槽は正しく維持管理
油・洗剤を流しすぎない

まずは知ることから



排水マ-



下水道



浄化槽

浄化槽設置補助金 活用促進に関するアンケート（浄化槽関係業者）

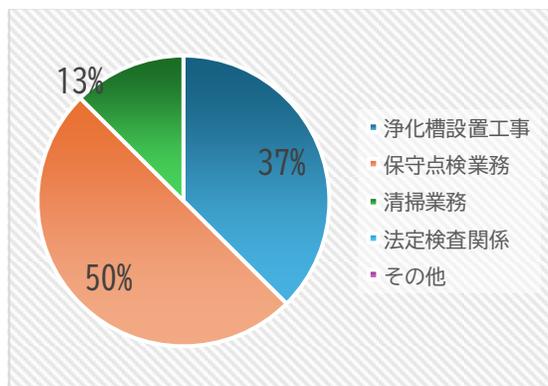
調査目的	<ul style="list-style-type: none"> ・本アンケートは、国・県補助制度を活用した浄化槽設置促進に向け、現場を担う事業者の視点から、市内の設置・維持管理の実態、制度の認知・活用状況、課題等を把握し、今後の制度改善への参考とするため実施する。 ・内容は、法令に基づき、浄化槽の設置や維持管理など公的役割を担う関連事業者において、もっとも現場の実情等を把握することから、住民のニーズ、制度供給側における事業環境も考慮し、各設問を設定した。 ・当市の現状は、浄化槽の登録台数が約5千台のうち、浄化能力が著しく劣る単独型が約1千台、また、水質検査の受検率は5割以下となっており、一層の水質改善が求められる霞ヶ浦流域に所在する自治体として望ましい状況とは言えない。
調査対象	浄化槽関連事業者（保守点検、清掃、設置工事）
調査期間	令和8年2月
調査方法	ウェブメールまたはウェブサイトによるアンケート配布
回答方法	インターネット、メール
回答数	16件
集計時点	令和8年2月27日
集計結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業者の属性 <ol style="list-style-type: none"> 1. 業務内容 2. 事業エリア 3. 人員体制 2. 浄化槽の維持管理について <ol style="list-style-type: none"> 4. 市内の状況 5. 不適正管理の内容 6. 不適正管理の発生要因 3. 補助金の周知・活用状況 <ol style="list-style-type: none"> 7. 市民の認知度 8. 効果 9. 活用足かせ 4. 補助金の活用促進策について <ol style="list-style-type: none"> 10. 設置時の重視点 11. 総合的に優れるタイプ 12. 維持管理向上のために有効な補助金活用策 13. 補助と併用した効果的な施策 14. 補助金の活用促進施策
付属資料	アンケート依頼、様式

集計結果

I. 事業者の基本情報（差し支えない範囲でご回答ください）

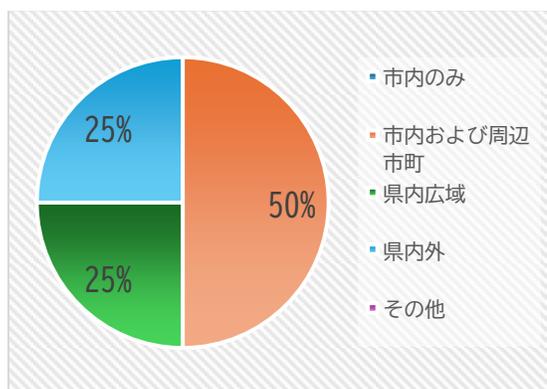
Q1. 貴事業者の業務内容（複数選択可）

項目	回答数	割合
浄化槽設置工事	6	37.5%
保守点検業務	8	50.0%
清掃業務	2	12.5%
法定検査関係		0.0%
その他		0.0%
計	16	



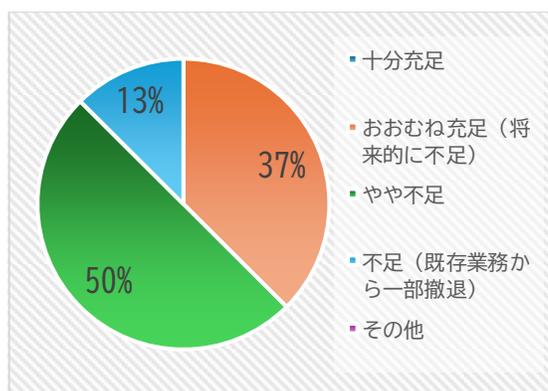
Q2. 主に対応している地域（複数選択可）

項目	回答数	割合
市内のみ		0.0%
市内および周辺市町	8	50.0%
県内広域	4	25.0%
県内外	4	25.0%
その他		0.0%
計	16	



Q3. 貴社の業務人員体制（一つ選択）

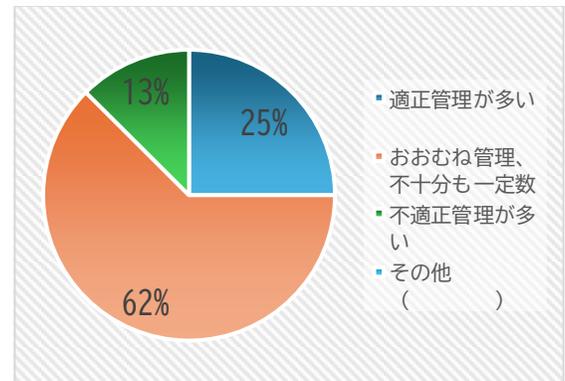
項目	回答数	割合
十分充足		0.0%
おおむね充足（将来的に不足）	6	37.5%
やや不足	8	50.0%
不足（既存業務から一部撤退）	2	12.5%
その他		0.0%
計	16	



II. 小美玉市内における浄化槽の維持管理状況について

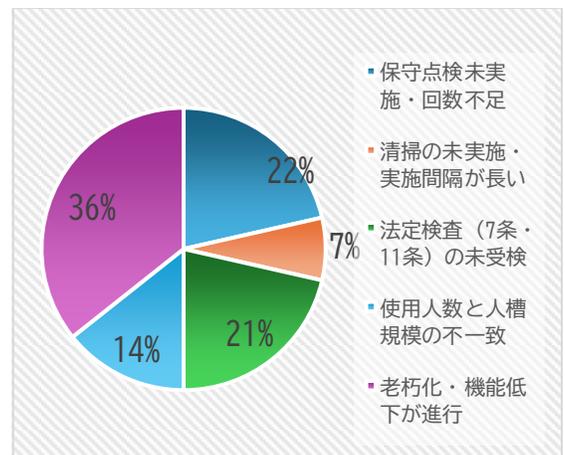
Q4. 現在、市内の浄化槽の維持管理状況について、全体としてどのように感じていますか。
(1つ選択)

項目	回答数	割合
適正管理が多い	4	25.0%
おおむね管理、不十分も一定数	10	62.5%
不適正管理が多い	2	12.5%
その他 ()		0.0%
計	16	



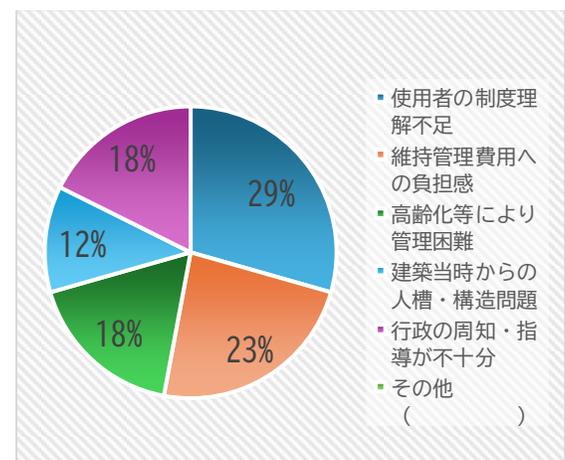
Q5. 不適正な管理が見られる主な内容 (複数選択可)

項目	回答数	割合
保守点検未実施・回数不足	6	21.4%
清掃の未実施・実施間隔が長い	2	7.1%
法定検査(7条・11条)の未受検	6	21.4%
使用人数と人槽規模の不一致	4	14.3%
老朽化・機能低下が進行	10	35.7%
その他 ()		0.0%
計	28	



Q6. 不適正管理が生じる主な要因は何だと考えますか。(複数選択可)

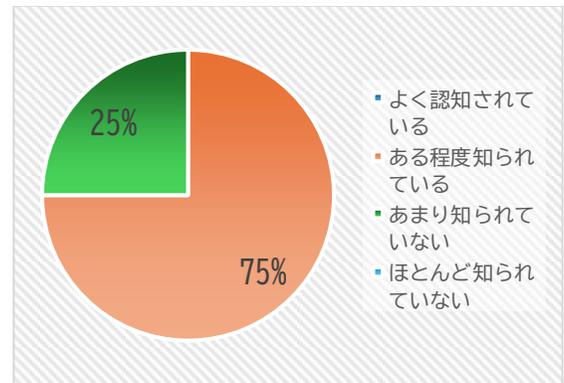
項目	回答数	割合
使用者の制度理解不足	10	29.4%
維持管理費用への負担感	8	23.5%
高齢化等により管理困難	6	17.6%
建築当時からの人槽・構造問題	4	11.8%
行政の周知・指導が不十分	6	17.6%
その他 ()		0.0%
計	34	



Ⅲ. 浄化槽設置補助金制度の認知・活用状況について

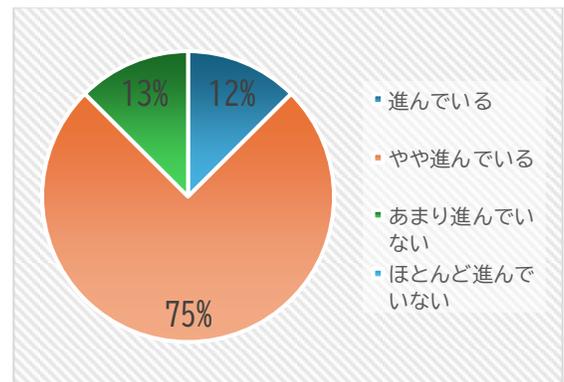
Q7. 小美玉市の浄化槽設置補助金制度について、使用者（住民）の認知度はどの程度だと感じますか。（一つ選択）

項目	回答数	割合
よく認知されている		0.0%
ある程度知られている	12	75.0%
あまり知られていない	4	25.0%
ほとんど知られていない		0.0%
計	16	



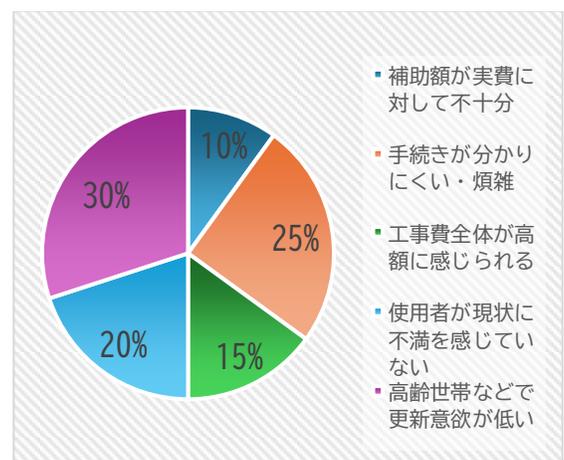
Q8. 補助金を活用した設置・転換（単独浄化槽からの転換等）は進んでいると感じますか。（一つ選択）

項目	回答数	割合
進んでいる	2	12.5%
やや進んでいる	12	75.0%
あまり進んでいない	2	12.5%
ほとんど進んでいない		0.0%
計	16	



Q9. 補助金があっても活用が進まない主な理由（複数選択可）

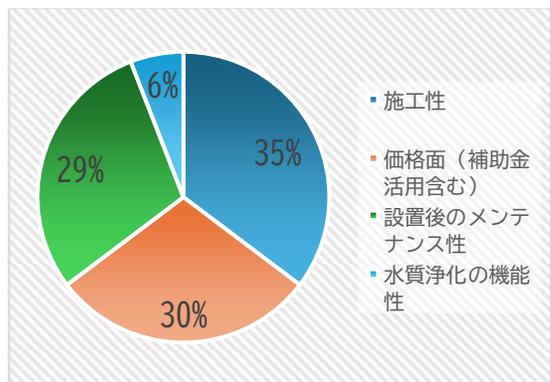
項目	回答数	割合
補助額が実費に対して不十分	4	10.0%
手続きが分かりにくい・煩雑	10	25.0%
工事費全体が高額に感じられる	6	15.0%
使用者が現状に不満を感じていない	8	20.0%
高齢世帯などで更新意欲が低い	12	30.0%
その他（ ）		0.0%
計	40	



IV. 施工や管理の実態を踏まえた「補助金活用促進策」について

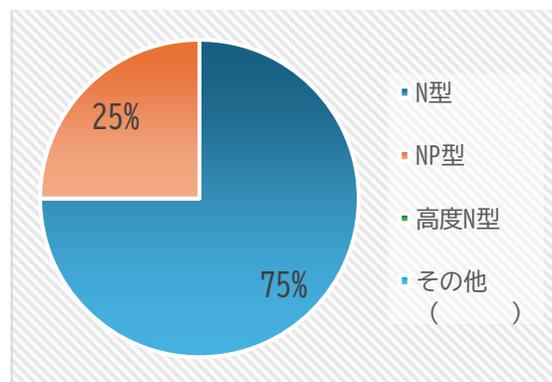
Q10. 浄化槽設置の際に重視すべき点は（複数選択可）

項目	回答数	割合
施工性	12	35.3%
価格面（補助金活用含む）	10	29.4%
設置後のメンテナンス性	10	29.4%
水質浄化の機能性	2	5.9%
計	34	



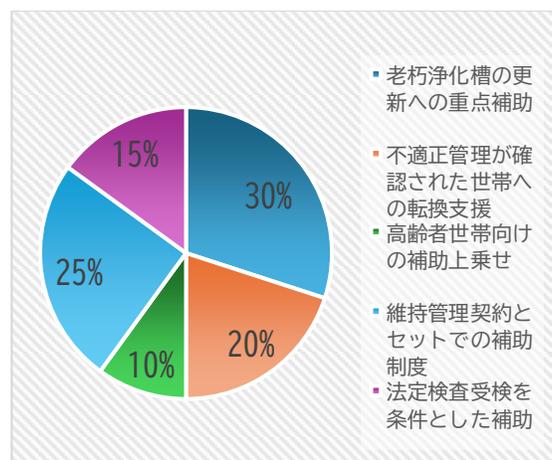
Q11. 上記の点を踏まえ、総合的に優れる浄化槽のタイプは（一つ選択）

項目	回答数	割合
N型	12	75.0%
NP型	4	25.0%
高度N型		0.0%
その他（ ）		0.0%
計	16	



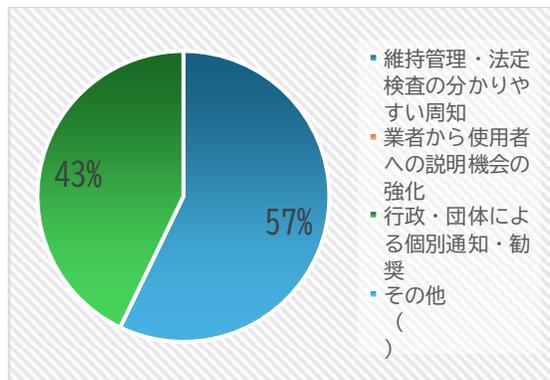
Q12. 維持管理状況の改善につながる補助金の活用方法として有効と思うもの（複数選択可）

項目	回答数	割合
老朽浄化槽の更新への重点補助	12	30.0%
不適正管理が確認された世帯への転換支援	8	20.0%
高齢者世帯向けの補助上乘せ	4	10.0%
維持管理契約とセットでの補助制度	10	25.0%
法定検査受検を条件とした補助	6	15.0%
その他（ ）		0.0%
計	40	



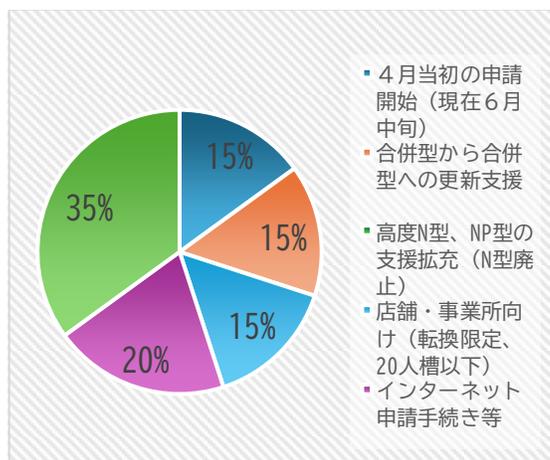
Q13. 補助制度と併せて実施すると効果的だと思う施策（複数選択可）

項目	回答数	割合
維持管理・法定検査の分かりやすい周知	16	57.1%
業者から使用者への説明機会の強化		0.0%
行政・団体による個別通知・勧奨	12	42.9%
その他（ ）		0.0%
計	28	



Q14. 今後具体的に検討する補助金の活用や申請方法として、有効または推進すべきと思うもの（複数選択可）

項目	回答数	割合
4月当初の申請開始（現在6月中旬）	6	15.0%
合併型から合併型への更新支援	6	15.0%
高度N型、NP型の支援拡充（N型廃止）		0.0%
店舗・事業所向け（転換限定、20人槽以下）	6	15.0%
インターネット申請手続き等	8	20.0%
不要な添付書類の削除	14	35.0%
計	40	



V. 自由意見（制度改善・運用面について）

Q15. 現場の立場から見て、小美玉市、または、県域、国策としての浄化槽制度について改善すべき点や、活用促進のためのご意見等があれば自由にご記入ください。（自由記載）

- ▶ 浄化槽設置後、清掃・法定検査等実施していない個人宅や店舗・飲食店・公共施設が見受けられる。現状、業者の実績報告だけでは、管理・清掃を怠っている浄化槽について、市役所・水質保全協会では把握することは難しい
- ▶ 清掃業者・管理会社が必要性を説明しても、強制力は無くあくまでもお願いする立場である。
- ▶ 未清掃・未管理者の実態を精査し、行政から毅然とした態度で指導していただきたい。

※アンケート結果は、今後の浄化槽行政および補助制度の検討資料として活用させていただきます
ご協力ありがとうございました。

浄化槽設置補助金活用促進に関するアンケートご協力をお願い

令和 8年 2月

平素より、小美玉市の生活排水対策行政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本市では、浄化槽の適正な維持管理の確保および、設置補助金制度のより効果的な活用を目的として、浄化槽関係事業者の皆さまを対象としたアンケート調査を実施することといたしました。

日頃、浄化槽の設置、保守点検、清掃、法定検査等に携わっておられる皆さまの現場での実感やご意見は、今後の制度改善を検討するうえで大変貴重なものと考えております。

ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※下記 URL インターネットからご回答ください（2月末を目途にご回答ください）

<https://www.city.omitama.lg.jp/0017/info-0000012261-0.html>

なお、ご回答内容につきましては、統計的に処理し、個別の事業者名が特定される形で公表することはありません。

（問い合わせ） 小美玉市 下水道課 管理係

住所：小美玉市小川4-11

電話：0299-48-1111

内線2125

浄化槽設置補助金 活用促進に関するアンケート結果

(浄化槽関係業者)

令和 8年(2026年) 2月

小美玉市 下水道課 (管理係)

茨城県小美玉市小川4-11

電話 0299-48-1111 内線 (2125)
